



「好きなことを仕事にしないで、何をやるんだい？」って言われた時、ハッとしましたと話す宮崎さん。美術専門学校の講師に言われた一言が、今の仕事に就ききっかけとなったそうです。「自分の好きなことを仕事にしているから、やりがいもありますし頑張れます」と語ってくれました。



デザインと印刷で、お客様の要望に応えていく。

サンライズは、紙媒体の企画デザインから印刷まで一貫して請け負える制作会社。企画デザインはもちろん、印刷では製本や折り加工、納品にいたるまでを一括で取り扱っていることが特徴です。最近ではwebにも力を入れており、ホームページの制作なども受注しています。宮崎さんはデザイン部門に所属しており、パンフレットやポスターといった印刷物全般のデザインを手がけています。

——宮崎さんの仕事ぶりはいかがですか？

大久保さん 入社したばかりと比べると、やっぱりここ1〜2年で革新的に伸びていると思います。宮崎さんは物事を柔軟に考えられるので、お客様の要望に対して臨機応変に対応してくれるし、ひとつふたつ工夫を盛り込んだデザインをしてくれるので、私は彼女宛で仕事を依頼することが多いです。

宮崎さん 最近、クライアントから言われていないことを、汲み取るのって大事だなって思っています。言われなかったから入れませんでしたってことではなく、デザイン的にこの要素を入れた方が雰囲気が出るんじゃないかと、自分で感じた何かをプラスするようにしています。私の場合クライアントと直接やり

——社内営業さんのやりとりで工夫していることはありますか？

宮崎さん 情報共有のために打ち合わせシートに記入してもらおうようにしています。営業がクライアントと打ち合わせしてきたことをまとめて、それを基に制作の打ち合わせをしますね。もちろん制作の打ち合わせの際に自分でメモはとりますが、あとで見直した時にコミュニケーションのちがいを確認できるので助かっています。

大久保さん 性格的なものもあると思うんですが、宮崎さんは聞き手にまわるケースが多いんですよね。だからやりとりの中で「それならここはこうしたらどうでしょうか」とみたいな提案ができるようになると思います。多分もうちょっと自信がつけばできるようになると思いますけど、まだ自信ない部分があるんだよね？

宮崎さん そうですね笑
大久保さん 制作をやっている会社だと、どうしても個人で進めていっちゃう場合があるじゃないですか。ウチもそういう部分は少なからずあるんです。だからと言って自分だけでいろいろ解決するんじゃないかと、彼女にはそういう力を養ってほしいなと思います。

大久保さん 僕の場合は、思ったことをそのまましゃべっちゃうので、たまに「何言ってるの？コイツ」って思うことあるでしょ？
宮崎さん なくはないですけど笑
大久保さん でもそういう時に「ちょっと今言ったこと、わかかな？」くらいの一言が言える感じになるといいよね。だから多少そこに遠慮があるのか、俺のこと相手してくれてないのか……笑

——逆に大久保さんから見て、宮崎さんはどんな部下ですか？

大久保さん やっぱ年がけっこう離れているのもあって、娘とまでは言わないけど妹みたいな感覚がありますね。親しみやすいというか。たまにプライベートの話とか聞かれます。自分なりの考えをちゃんと持っているからいいと思います。仕事の面では、印刷もやっている会社なので刷り出しを見に行ったりとか、できる限りやってみてほしいですね。デザインをやったら終わりじゃなくて、刷り上がったものや完成したものに對して関心を持ってもらいたいです。

大久保さん 全部が全部そうする必要はないんだけど、物事に関心がないとそこから先ってないと思うし、そこがウチの会社の特徴だからね。他のデザイン会社はもうデザインのプロフェッショナルだったりするんだけど、ウチはそこまでプロフェッショナルではないかもしれないけど、印刷も含めて総合力で勝負している会社なんです。

有限会社 サンライズ
所在地：長野県長野市大字高田1390-1
創業年：1986年
事業内容：各種印刷物の企画およびデザイン制作。印刷から製本、納品までを一貫して行っており、近年ではホームページ・webコンテンツ制作も手がけている。
URL：http://www.sunrise-gogo.co.jp